

## 2016年度 第4回 総合スーパー(通算74回)(平成28年10月27日)

テーマ: 社会人として働くことの楽しさ、その成功のカギ



稲岡 稔 様 元セブン&アイホールディング常務取締役

### ◆会社とは

一般的に、社会で貨幣価値を創出する最大の存在は企業、即ち会社である。会社も活気あるすぐれた学生を求めている。会社の究極の目的は利益を上げることである。会社が利益を産むから株主は出資し、国や自治体も会社の活動を支援し、その利益は税となって国家、社会全員の幸せのために使われる。そこで働く会社員も報酬を受け取り、社会人として税を納めて社会に貢献していく。

会社に利益をもたらすものは「ユーザー」即ち「お客様」であり、会社にとってはお客様に喜んでいただき、満足していただくことこそが繁栄の源である。しかし、これからの日本社会は会社にとって厳しい時代となる。まず、世界的に低成長が続いている。そして日本の人口は減少し続け、生産年齢人口は急速に減少していく。2036年には東京都ですら、すべての区で人口が減少する。

わが国は巨額の財政赤字を抱えており、その先行きは楽観できない。消費税はさらに上げられることになっている。

### ◆働くこととは

こうした中でいかんして社会人の楽しさを享受し、仕事をなしとげ、組織の中で成功していくか。そんなに簡単なことではない。日本の会社に入社すると、通例「研修」を受けることになる。まずはこの研修期間を、受け身で受動的に過ごさないことが大切である。グループ分けされて話し合うことになった時には自ら司会を申し出る。会社の研修担当社員に、研修の進行を手伝いましょうか、と申し出て補助的役割、雑用を引き受ける。新入社員全体に気を配り、困っている社員を助けてあげる。これらはすべて研修担当社員が注視しており、当然に評価に結びつく。

これが後の会社人生に大きく影響する。やがて新入社員として会社内の部門に配属され、上司、先輩に教えてもらいながら社会人として成長していく。そこでは当然組織の中でのマナー、動き方、生き方が厳しく見られている。上司、先輩、同僚との接し方が大事なことであり、この人はどういう人間か、を厳しく見られていく。

会社、組織で働くことは楽しいことである。自分が他の人たちから認められ、評価され、組織の目的に貢献することができ、報酬ももらえる。よくやったとほめられることがあるし、賞をもらったりもする。この時、のぼせ上がらないこと。「組織は嫉妬の海」である。多くの人から嫉妬された時、思いもかけない扱いを受ける。

### ◆社会人と学生の違い

社会人の生活は学生とは大きな違いである。何より社会人としての責任が伴う。組織の中で求められる成果は達成しなければならぬし、組織の求める価値を増大しなければならない。

これができないと上司からは厳しく見られるであろうし、さらなる努力を求められ、それでもできなければ異動の対象ともなる。求められた成果を上げられないで上司から厳しく見られる時、組織人は苦しみことになる。ストレスを受ける。その苦しみが大きくなっていくと、うつになったり出社拒否したりする場合が出てくる。難しい仕事をしている人ほど、そうした場面に陥ることがありがちである。

### ◆組織の一員として

日本の組織は本質的に「ムラ社会」である。ムラの掟には従わないと「ムラ八分」にされかねない。組織のリーダーのいうことによく耳を傾け、その考えが自分の考えと違う時には、まずは黙ってよく考える。いきなり「私はこう考えます」というと、多くの場合、大変なことになる。しかしリーダーの考えと違う考え方で進めないと物事が解決しないことも少なくない。そのような状況でどう行動するか。このあたりが組織の中で働く時のむずかしいところである。内々に先輩たちに相談し、自ら考え抜き、大きな成果を上げることができれば成功である。しかし、その間、相談した人が上司にこっそり報告していやがらせを受けたりもしよう。決まったやり方はない。

まず、自分の趣味や友人との交友の中で気分を立て直していく。上司が率直に相談できるなら上司と相談し続ける。しかしそうでない場合がしばしばである。あるいは他の部門、なるべく現部門から離れた部門の親しい先輩に相談する。他部門の友人と相談する。あるいは他社にいる友人たちに相談する。

こういう状況の時、どう打開していくか、ここが社会人として生きていく上での大事な関門である。これは公務員あるいは研究者、教育者として生きる人も同じであろう。人の世のことゆえ、こうすれば解決するという定理はないのだが、こういう状況はだれにでもあること。そして組織の内部情報は外部に絶対にもらさないこと。悩みすぎないで、これを乗り越えること。

幸い会社には人事異動があって上司も変わる時があるし、自らも異動することがある。この時、思いつめない、無理をしないことが大切である。

## ◆働くことの楽しさ

営業こそが会社の利益を産む会社のエンジンである。しかし、会社のどのような部門にいても、会社を支え、前進させるその使命はある。会社に必要の人であることに誇りを持ち、そのような組織の中でしかできないことができる喜びを見失わないように。

人は何のために生かされているのか。我々は何のために生を受けているのか。自らなりによく考えて生きる喜びと誇りを見出してほしい。家族とともに豊かで幸せな生涯を生きてほしい。そして回りの人々を幸せにしてほしい。

あなたには、それができる。